

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 2 月 24 日 (2011.2.24)

【公表番号】特表 2002-523622 (P2002-523622A)

【公表日】平成 14 年 7 月 30 日 (2002.7.30)

【出願番号】特願 2000-566482 (P2000-566482)

【国際特許分類】

C 2 2 C 21/06 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 21/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 24 日 (2010.12.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マグネシウム (Mg) 5~6 重量%、

ジルコニウム (Zr) 0.05~0.15 重量%、

マンガン (Mn) 0.05~0.12 重量%、

チタン (Ti) 0.01~0.2 重量%、

スカンジウム、イットリウム及びランタニド元素からなるグループより選択される少なくとも 1 種の元素であって、少なくともスカンジウムを含む合計 0.05~0.5 重量%、

銅 (Cu) 0.1~0.2 重量%、または亜鉛 (Zn) 0.1~0.4 重量%、または銅 (Cu) 0.1~0.2 重量%および亜鉛 (Zn) 0.1~0.4 重量%、

残余であるアルミニウム (Al)、および

最高 0.1 重量%の珪素 (Si) を含む不可避免的な不純物

を含むことを特徴とする、高マグネシウム含量アルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 2】 スカンジウム含有量に対するマンガン含有量の比が、2 より小さいことを特徴とする、請求項 1 に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 3】 少なくとも 0.15 重量%のスカンジウム (Sc) を含んでいることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 4】 1 種またはそれ以上のランタニド元素を 0.05~0.35 重量%含有することを特徴とする、請求項 1~3 のいずれか 1 項に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 5】 前記 1 種またはそれ以上のランタニド元素が、セリウム (Ce)、ネオジム (Nd)、ユーロピウム (Eu)、ガドリニウム (Gd)、ジスプロシウム (Dy)、ホルミウム (Ho)、またはエルビウム (Er) であることを特徴とする、請求項 4 に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 6】 スカンジウム族元素より選択される少なくとも 1 種の元素としてテルビウム (Tb) を含んでいることを特徴とする、請求項 1~5 のいずれか 1 項に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 7】 請求項 1~6 のいずれか 1 項に記載のアルミニウム - マグネシウム合金から成る、航空機用の溶接された構造部材。